

# 拒食・過食症の病棟内内観療法の効果 ～摂食障害専門治療30年の変遷～

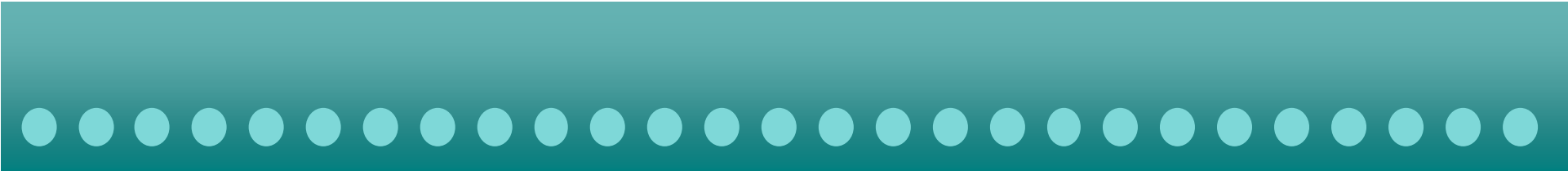
医療法人耕仁会札幌太田病院 内観療法課

伊藤恵理 奈良岡妙子

中村友美子 市嶋優紀 太田健介

# 摂食障害専門治療 入院時契約 ～ 治療第1期 ～

- マルチダーツ、小弓道、コマ回し、箱庭療法など遊びを通じた心身の状態の活性化
- 新しい人生目標や喜びの創造
- 看護ステーション内での食事
- 食事を味わい楽しむ
- 心理・作業療法などを楽しむ



## 摂食障害専門治療 入院時契約 ～ 治療第1期 ～

### 2001年から疾患別カルテの採用

- 過・拒食症による身体・精神の合併症状
- 既往歴
- 過去・現在の食行動
- 心理状況

# 2002年から摂食指導マニュアル

## 摂食障害専門治療 入院時契約 ～ 治療第1期 ～

定期的体重測定

アイスモナカ療法

看護ステーション内の食事

20～30回の咀嚼

舌の部位と味覚変化

食事日記の記載

目標摂取量

食べたことへの賞賛

摂取の促し・介助

摂取拒否への点滴・鼻空栄養・  
淡白同化ホルモン使用の示唆

摂取量の調整

食事摂取後の20～30分間待機

料理・食材・料理人・生産者・水・  
体温などに対する内観

# 病棟内内観療法・家族内観療法の導入 ～ 治療第2期～

内観開始

精神状態・体重の回復に応じて

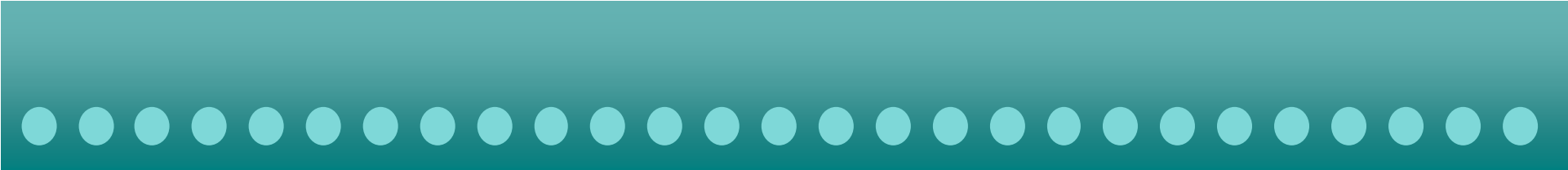
内観中

食事：通常より30分早く看護ステーション内  
舌に対する内観：20～30回の咀嚼後、  
食べ始め・中間・嚥下時

食生活日誌：食後30分間、看護ステーション内

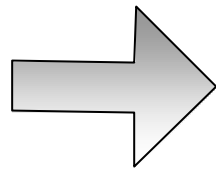
内観後

家族内観



# 認知行動療法・食事療法の実践 ～ 治療第3期～

独自の治療ターゲット記録シート  
内観前後にボディークスポーズジャー  
(身体暴露)  
集団療法(疾患教育・認知行動療法)



内観で得られた**病識の継続、再発予防**



## 看護部の協力 ~ 治療第4期 ~

- 過食・拒食・盗食・食事の破棄、譲渡の防止
- 点滴・服薬・体重測定
- 食生活日誌の指導
- アイスモナカ療法

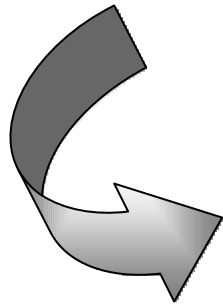
## 自助グループの経緯 退院後の継続した支援 ～ 治療第5期～

	ECの会	柊の会	アマリリスの会
開催	1995年～ 1996年	2003年～ 2004年	2009年～ 現在
回数	35回	25回	70回
平均 (参加人数)	3.60名 (126名)	4.58名 (95名)	4.09名 (286名)



## まとめ 摂食障害の基本的捉え方

社会参加など人間的成長拒否  
女性性の拒否  
親の愛情の欠落・誤解  
心的外傷の潜在



認知修正

作業療法・音楽療法

学習会

## まとめ 内観の効果

心理的背景の洞察

親の愛情欠乏  
心的外傷

抵抗の排除

情動体験・被愛体験

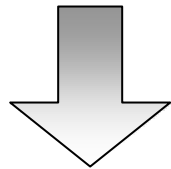
自他の理解の  
促進

自己肯定感の獲得

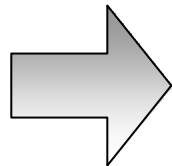
## まとめ 家族内観の効果

### 抑圧の吐露

「自己主張せず、人の評価ばかりを気にしていた。  
母に愛されたい一心で歪んだ自己像を作りだし、  
辛かった。」



親の認知修正



家族関係の改善